



第36回 四箇地区文化祭 & ハロウィン祭りの中止を決定

今年で36回目となる令和2年度の四箇地区文化祭。公民館の年間行事の中でもメインイベントと言っても過言ではありません。ですので「With コロナ」として規模を縮小したり、作品展示のみを行うなど何とか開催できないかと検討してきましたが・・・ここにきて第2波となる新型コロナウイルス感染者数が全国的に拡大を見せてきました。

文化祭で協力を頂く同好会の皆様からも不安の声を多数頂きました。また不特定多数の来場も想定される上、幼稚園遊戯室や小学校体育館を使用するというので、感染予防対策にも限界があると判断しました。以上の点を鑑み、先日、書面表決により四箇地区文化祭運営委員会を開催し、賛成多数にて「今年の文化祭は中止する」ことが承認されました。併せて子どもたちに仮装を楽しんでもらっていた「ハロウィン祭り」も中止としました。

残念ではありますが、盛り上がってこそその文化祭！中途半端で開催するよりは、来年、仕切り直しの上でバザーや獅子舞、ハロウィン祭りもある賑やかな四箇地区文化祭が開催できることを切に望みます！



写真は昨年の「第35回四箇地区文化祭」の様子。来年はこんな風に賑やかな文化祭が開催できますように...

たどつ夏祭り総踊り・しかっこ夏休みこども教室 中止

本来なら今月号で写真付きで紹介していたはずのこれらのイベントも中止となりました。個人的にはありますが、毎年たどつ夏祭りでは出店の手伝いをして、かき氷などを売っていたので、天候不良で中止になるのとは違った悔しさがあります。

また、毎年夏休みに「しかっこ夏休みこども教室」を開催し、たくさんの小学生が参加してくれていましたが、今年はそれもなし。それどころか既に2学期が始まっているという異例の状況です。善通寺市の全ての小・中学校で修学旅行の中止が決まったという新聞記事を読みました。修学旅行は一生の思い出となるイベントです。それがなくなるということがどんなに悔しいことか。一日も早く「With コロナ」の新たな日常が定着することを望みます。

公民館の主催事業 「折り紙講座」



7月号でも紹介しましたが、現在公民館の主催事業として、毎月第1金曜に「折り紙講座」を開講しています。本来なら「陶芸講座」「こども硬筆講座」「こども絵画講座」も開講しているはずなのですが、新型コロナウイルスの影響で子どもたちの参加が見送られているため開講できていません。折り紙講座は唯一、大人向けの講座のため7月より開講しました。今回はそんな折り紙講座について紹介します。講師は今田八重子先生です。先生の折り紙歴は20年になり、16年前に日本折紙協会の資格を取得されたそうです。

さて、8月講座のお題は「pata-pata (パタパタ)」24枚の折り紙を組み合わせる「からくり仕掛け」の作品です。言葉では説明しづらいですが、「パタパタ」と無限に折っていける子どもが喜びそうな作品です。

今田先生曰く「鶴や兜などの伝承折り紙の歴史は深い、現代の折り紙はその進化がすごい。折り紙でできる作品の可能性は無限にある」とのこと。最初4つしかない折り紙の角がどんどん増えていく、すなわち平面が立体になっていくのが折り紙の魅力だそうです。

「折り紙講座」の受講料は2千円。(材料費は別途必要となります。)興味のある方は四箇地区公民館までお問い合わせください。



← pata-pata (パタパタ)

【編集後記】

8月に入り猛暑日が連日続いております。今夏は新型コロナウイルスの感染防止のため、マスクの着用も求められています。ここで注意しなければいけないことは水分補給です。マスクを着けていると内側に熱がこもりやすく、湿度が高くなることで喉の渇きに気付きにくくなるそうです。喉が渇いていなくても小まめな水分補給を心掛けてください。また人との距離が十分保たれている時にはマスクを外して暑さ対策を取ってください。

